

# 花卉研究会で本校生徒が発表しました。

令和6年2月16日（金）17時より、「割烹古都」（諫早市小川町）において「花卉研究会」（寺尾祐輔会長）が開催されました。この研究会は会員数50名を超える諫農OBの花弁農家で結成され、長崎・諫早・雲仙・佐世保に各支部があり、今年で57年目を迎えます。

今年は4年ぶりの開催で、研修会として本校生物工学部による研究発表が行われました。

この発表は、「第11回食品もったいない大賞」で農林水産大臣賞を受賞したもので、対馬市と連携して、対馬市内の生活ゴミをたい肥化して、栽培の生産性を上げるとともにコストを減らすという画期的な取り組みを紹介したものです。30分に及ぶ発表でしたが、みなさん熱心に視聴され、質疑応答も活発に行われました。

研修会後は総会、懇親会となり、事務局からは、吉田会長、礎教諭が出席し、学校の近況報告を行いました。

この花卉研究会は、同窓会活動の中でも一味違った特色があり、今後も末永く存続させていただきたい会でありますので、会員の皆様の更なるご発展を祈念いたします。



発表の様子



熱心に視聴されてました

